

【凡例】・太字下線（網掛け）は修正点  
 ・斜線は関連する項目

中期計画

I 教育

＜教育の柱＞ 問題発見・課題解決力の涵養と新たな価値を創造する人材の育成

＜検討の方向性（考え方）＞

教育分野では、法人化以降、取り組んできたリベラルアーツ教育をさらに発展させ、豊かな教養と高度の専門性及び高い倫理観を兼ね備えた人材を育成する。そのためには、多様性が重要であり、多様な人材を獲得するための入試を実施する。また学問領域を問わず、データ思考の出来る人材を育成し、先の時代を見据えた課題にも的確に対応して新たな価値を創造することのできるイノベティブな人材を輩出する。

全学で推進するデータ思考教育とともに、総合大学として全学部と融合を進めてきた医学・ヘルス分野を本学の特長として最大限に活かして領域横断的な教育を行う。学修者本位の学びを重視し、DXを活用して学修効果を検証するための教学IRを推進する。また、ポストコロナ、ニューノーマルといった環境の変化にも柔軟に対応する機動性と先見性に重点を置いた教育体制を構築し、併せて学生一人ひとりが充実した学生生活を送ることができるよう経済的支援、学術情報の提供や健康面のサポート等を行うとともに最適なキャリア支援を行っていく。さらには専門性を高めるための大学院進学を推奨し、積極的な支援を行うとともに大学院のあり方について検討する。

第4期期間を通して教育の質と研究の質をとともに高め、相互の活動に活かしていく。

(1) 新たな時代を見据え、時代に応える教育の提供と発信

1	<b>全学的な教育の質向上・発信</b>
	①高等教育推進センターによるデータ思考・グローバル教育・新たな教育手法の開発・発信【グローバル化】 ②ポストコロナ・ニューノーマル時代の教育
2	<b>＜国際総合科学群学部＞データ思考人材、リーダー人材の育成とアントレプレナーシップ教育</b>
	①データ思考人材、リーダー人材の育成とアントレプレナーシップ教育
3	<b>＜国際総合科学群研究科＞大学院教育の充実(学部接続・研究力強化)、リカレント教育</b>
	①学部～博士前期課程一貫教育・博士後期課程進学への推進 ②データ思考人材、イノベティブ人材の育成を意識した教育体制 ③研究倫理を身につけたリサーチマインドのある人材の育成 ④リカレント教育の推進【地域貢献】 ⑤高度データサイエンス人材の育成
4	<b>＜医学部＞時代の変化に対応した医療人材育成</b>
	①グローバルな視野を持った医療人材の育成【グローバル化】 ②新たな時代のニーズに応える医学教育
5	<b>＜医学研究科＞医療分野の発展に貢献できる高度人材の育成</b>
	①データ思考人材、イノベティブ人材の育成を意識した教育体制 ②研究倫理を身につけたリサーチマインドのある人材の育成 ③病院経営人材の育成【地域貢献】

# I 教育

## (2) 5学部6研究科の特長を活かした領域横断教育の推進

1	<学術院>FD・SD、IR、教育手法・プログラムの全学展開
	①学部・研究科、学群間の連携推進 ②FDを通じたコンプライアンス推進と事例共有
2	共通教養教育、全学DS教育、SDGs教育推進
	①共通教養教育の発展への取組 ②全学的なDS教育の展開 ③SDGsに結びつける教育内容
3	<b>領域横断型プログラム、学内部局の教育連携強化</b>
	①領域横断型プログラムの推進

## (3) 学修者本位の教育と時代に即した学修環境の提供

1	<b>DX(LMS)、多様な授業形態の活用、学修者本位の学修推進、環境整備・支援</b>
	①アクティブラーニング推進 ②学修者本位の教育実践に係る支援 ③学術情報の提供のあり方 ④問題発見・課題解決能力養成のための学修環境整備・支援
2	多様なキャリア支援
	①社会の動向を見据えたキャリア支援 ②多様性を踏まえたキャリア支援
3	学生支援(健康、経済的、課外活動) ★1-(4)1と関係
	①学生支援のあり方検討 ②課外活動支援 ③健康面での支援、多様な学生への配慮 ★1-(4)1と関係

## (4) 多様で感性豊かな高度人材の育成

1	グローバル教育、多様な学生受入・支援 ★1-(3)3・V-(1)2・(2)2と関係
	①グローバル教育を受ける機会の拡大【グローバル化】★V-(2)2と関係 ②多様な学生が教育を受け成長できる環境 ★1-(3)3と関係
2	多様で優秀な人材獲得(高大連携、入試)
	①高大連携のあり方見直し【地域貢献】 ②質が高く多様な人材を獲得する入学者選抜
3	ボランティア活動を通じた地域貢献【地域貢献】
	①ボランティア活動の支援【地域貢献】

## II 研究

### <研究の柱> 基礎的研究力及び高い研究倫理を土台とした戦略的かつ先進的な研究及び領域横断研究の推進

<検討の方向性（考え方）>

研究分野では、**基礎的研究力の強化**とともに**地域課題や地球規模の課題など様々な社会課題の解決**を目指した戦略的かつ先進的な研究及び領域横断研究を推進する。さらに**オープンイノベーションにより外部組織と効果的に連携**することで、本学の**研究成果の効果的な社会実装を推進**する。そのため、データサイエンス学部・研究科及び医学部・研究科をハブとした**領域横断研究**、先端医科学研究センター、木原生物学研究所及び生命医科学研究科を中心とした**生命科学・生命医学の先端的研究・新興感染症研究**等について、様々なパートナーと連携して取り組み、**「研究の横浜市立大学」として世界に発信**する。

また、附属病院は、日本発の革新的な医薬品や医療機器の開発に必要となる**質の高い臨床研究や治験を地域とともに推進するための臨床研究中核病院**として、**県内における中心的な役割**を果たす。

#### (1) 先進的な医科学研究及び臨床研究の推進【地域貢献】【グローバル化】

1	先進的な医科学研究の推進
	①先端的な医科学研究の推進
	②世界レベルの研究拠点となる基盤技術の推進
	③①及び②をもとにしたトランスレーショナルリサーチの更なる推進
2	臨床研究の推進 ★III-(2)3と関係

#### (2) 各領域における研究活動の推進と発信【地域貢献】【グローバル化】

1	各領域における研究活動の推進
	①世界的にも先鋭的な研究成果が創出できる研究拠点の構築
	②学際的研究の推進
2	各領域における研究成果の発信
	①研究成果の積極的発信

#### (3) オープンイノベーション等を通じた特長のある研究分野への挑戦【地域貢献】【グローバル化】

1	オープンイノベーション等を通じた特長のある研究分野への挑戦
	①オープンイノベーションの推進
	②大学発ベンチャーの創出支援
	③研究成果の社会実装

#### (4) 研究基盤の強化及び外部資金の積極的な獲得

1	研究基盤の強化
	①研究支援体制等の強化
	②研究者の研究環境等の整備
	③研究支援人材の育成
2	外部資金の積極的な獲得
	①外部資金の積極的な獲得

#### (5) 研究者の育成及び女性活躍の推進

1	研究者の育成及び女性活躍の推進
	①若手研究者、助成研究者の支援
	②研究者の研究環境等の整備

### Ⅲ 医療

#### <医療の柱> 高度で安全な医療を提供し、地域医療の最後の砦として、市民に信頼され、教職員が誇れる大学病院

##### <検討の方向性（考え方）>

附属2病院については、横浜市にある公立大学附属病院として、明日を担う質の高い医療人の育成につとめるとともに、臨床研究等の成果に裏付けられた更なる高度な医療の提供を目指す。

また、今後の人口減少・高齢化に伴う医療ニーズの変化を見据え、地域の医療機関との機能分化・連携を進め、引き続き市民の健康の保持に寄与していく。

一方で、働き方改革に対応するため、病院で働く全ての教職員が働きやすい職場環境を構築する。

さらに、横浜市とともに医学部・附属2病院等再整備事業を推進するとともに、統合を見据えた2病院の連携強化を一層推進する。

#### (1) 患者本位の医療の提供と医療安全の取組

1	患者本位の医療提供
	①療養環境の向上
2	安全・安心な医療の提供
	①感染制御、コンプライアンス、個人情報保護、医療安全
	②施設整備
3	ICT・DXの推進
	①ICT、遠隔診療（ITやデジタルを活用した業務の変革）【地域貢献】
4	チーム医療の強化
	①多職種連携したチーム医療の推進や、IPW（多職種連携）・IPE（専門職連携教育）の強化及び大学教員とのユニフィケーション（ミックス）※の推進
	※ユニフィケーション（ミックス）：看護の実践と教育・研究とが連携し、看護教育ならびに臨床看護の質の向上を図っていこうとするもの

#### (2) 質の高い医療を提供、大学病院としての特色を活かした臨床研究の推進

1	高度で質の高い医療の提供
	①ゲノム医療
	②高度で先進的な医療【地域貢献】
2	医療の国際化への対応【グローバル化】
	①医療の国際化
	②外国籍職員の就業支援・促進の活用
	③海外との医療交流
3	臨床研究の推進 ★II-(1)2と関係
	①「臨床研究中核病院」
	②「横浜臨床研究ネットワーク」
	③研究成果の可視化

### Ⅲ 医療

#### (3) 政策的医療への貢献、地域医療の推進【地域貢献】

1	地域医療への貢献【地域貢献】
	①地域医療への貢献
2	政策的医療の推進
	①がん医療・2025年問題・2040年問題・感染症医療・災害時医療・救急医療・最後の砦
3	地域医療連携の推進【地域貢献】
	①地域医療構想の実現
	②地域包括ケアシステムの構築

#### (4) 職員の健康を守り、働きやすい職場環境の実現

1	多様な働き方の推進 ★VII-(3)2と関係
	①働き方改革、タスクシェアリング
	②多様な就労形態 ★VII-(3)2と関係

#### (5) 明日を担う質の高い医療人材の育成と活用

1	医療人材の育成
	①アカデミックな分野も含めた看護師・コメディカル育成（活用）
	②特定行為に係る看護師
	③教職員研修
	④医療人材の育成 (5)感染症医療人材 (6)予防医学人材
2	経営力を備えた人材育成
	①病院経営人材
3	医療人材の活用
	①職種を超えた共同研究

#### (6) 医学部・病院等再整備事業及び統合を見据えた取組の推進及び経営基盤の強化 ★VI-(1)と関係

1	2病院の連携・経営基盤の強化
	①2病院の連携の推進と経営基盤の強化（役割分担）
2	2病院の共通化・共有化の推進
	②2病院の共通化・共有化
3	医学部教室の再編成
	①医学部教室の再編成

## IV 地域貢献

### <地域貢献の柱> 横浜市立大学の特長を活かした、社会とつながる地域貢献の推進

<検討の方向性（考え方）>

地域貢献については、国際都市横浜にある知の拠点として、横浜市をはじめとする自治体や産業界等との連携を深め、教育・研究・医療を通じ、研究成果の社会実装や知的・医療資源の還元を積極的に進めることで“産官学連携のプラットフォームの中心（地域社会のハブ）”となり、横浜市と大学及び地域社会の協働による横浜発のイノベーション創出、地域課題解決及び地域経済発展、そして社会全体、さらには世界へ貢献することを目指す。

地域貢献へ一体的に取り組むための「地域貢献センター」の体制等について検討し、併せ地域貢献活動に対する評価システムを再構築するとともに、学内外への浸透に向け、広報を含めた取組をさらに強化していく。

また、エクステンション講座のあり方を整理し、オンライン講座等の様々な形態による講座を展開し、様々な地域・年代をターゲットとした生涯教育を実施する。

#### (1) 課題解決を目指した地域社会との協働の推進

##### 1 コーディネート機能の強化による地域連携の推進と発信

①地域貢献センターのコーディネート機能強化による、区市等との連携の推進・発信

#### (2) 各分野における地域貢献・地域連携

各分野で【地域貢献】を付した取組

#### (3) 地域社会が求める生涯学習機会の提供

##### 1 市大ならではの戦略的なエクステンション講座の実施

①幅広い年齢層やライフステージに対応した学びの提供

## V グローバル化

### <グローバル化の柱> “量から質へ” 国際社会と連動したグローバル戦略

<検討の方向性（考え方）>

第4期中期計画期間においては、国際社会におけるデジタル化・グローバル化の一層の加速・進展に乗り遅れることなく、大学の取り組みを進めていくことが求められる。

第4期におけるグローバル化については、第3期までに拡充・整備してきた協定締結大学や国際交流プログラム等のグローバル化基盤の“質を向上させる”フェーズと位置付け、国際都市横浜にある大学として、横浜市との連携をより一層深めつつ、教育・研究・医療の各分野においてグローバル化を進展させ、戦略的に本学の特長を伸ばし、国際的な発信力を高める。

グローバル化については、特に、ポストコロナ・ニューノーマルという視点を十分に踏まえ、オンラインをはじめとした新たな国際交流の形を検討し、実施する。

#### (1) グローバル教育による横浜市立大学発のグローバルリーダー育成

1	「国際的にリーダーシップを発揮できる人材」の輩出を目指した留学体系の整備
	①ポストコロナを踏まえた質の高い多様な留学プログラムの整備
2	学部等と連携した切れ目のない支援体制の整備 ★1-(4)1と関係
	①安全・安心な留学を実施するための渡航前後を含む包括的かつ継続的な支援体制の整備

#### (2) 質の高い、学生の国際交流戦略

1	優秀な留学生の戦略的獲得<入口> ★1-(4)2と関係
	①アドミッションズセンターと連携した入試広報活動 ★1-(4)2と関係
	②多様で優秀な留学生の戦略的な獲得とキャンパスの国際化
2	受入支援体制の整備<在学中> ★1-(4)1と関係
	①国際混住型留学生宿舍の確保と多文化共生の推進
	②留学生にとって魅力あるカリキュラムと国際共修プログラムの拡充
3	留学生就職促進プログラム自走体制による出口支援の充実<出口>
	①YCU-ADVANCEプログラム実施による出口支援の充実とダイバーシティ推進

#### (3) 横浜ブランドを活かしたグローバルネットワークの構築

1	質が担保された海外大学との交流実績拡充及び新規協定校の戦略開拓
	①戦略に基づいた海外協定校の新規開拓と既存協定校との交流推進
2	横浜ブランドを活かした国際交流事業の推進
	①横浜市をはじめとするグローバルネットワークを活用した、横浜ならではの国際交流事業の推進
3	アカデミックコンソーシアム事業における研究教育活動の推進
	①SDGs等領域横断分野における国際共同研究及び国際共修プログラムの推進と知的資源の社会への積極的還元

#### (4) 各分野におけるグローバル化推進

1	各分野で【グローバル化】を付した項目
---	--------------------

## VI 施設整備

### <施設整備の柱> 医学部・附属2病院等再整備事業をはじめとした イノベティブな拠点づくり（魅力的なキャンパス・病院施設）の推進

<検討の方向性（考え方）>

第4期中期計画における教育・研究・医療・地域貢献・グローバル化の各分野における目標を達成しつつ、大学創立100周年、医学部・附属2病院等再整備、そしてその先を見据えた魅力的な大学・病院を目指す。各キャンパスではキャンパスマスタープラン等に基づく計画的な施設整備を進めるとともに、福浦キャンパス及び病院では医学部・附属2病院等再整備事業を推進し、SDGs、DX、ダイバーシティなどの視点も踏まえながら、「魅力のあるイノベーション発信拠点・地域における産学官プラットフォームの中心として、施設・環境面の機能・魅力向上を図る。

#### (1) 医学部・病院等再整備事業 ★Ⅲ-(6)と関係

##### 1 最高水準の医療・医学研究・人材育成拠点の実現に向けた再整備の検討推進

①医学部・病院等再整備基本計画、実施計画、基本設計書、実施設計書の作成

#### (2) イノベティブ拠点としての魅力的なキャンパス・病院作り

##### 1 カーボンニュートラルをはじめとする社会的要請への対応

- ①本学キャンパス内の各建物の正確な現状把握（省エネ性能の評価や設備の基礎調査）に向けた作業の委託検討
- ②横浜市による総合研究教育棟及びサークル棟の大規模改修時のZEB化の実現検討

##### 2 キャンパスマスタープランの具現化

- ①横浜市による総合研究教育棟及びサークル棟の大規模改修時にイノベーション・コモンズ（共創拠点）を整備

##### 3 省エネを考慮した計画的メンテナンス

- ①学内建築物の基礎的調査を踏まえた、効率的なメンテナンス計画策定の検討
- ②横浜市による大規模改修時にあわせたレジリエンス強化に資する整備計画の検討
- ③本学の「環境方針」に基づく環境管理システムにつながる、省エネ・脱炭素化実現を考慮した計画的メンテナンスの実施検討

##### 4 働き方改革やDX推進を支えるICTインフラ整備 ★Ⅶ-(3)2と関係

- ①学修データの集約・一元化とその分析による学びの個別最適化（教育DX）
- ②事務効率化・利便性向上を目指した総合的事務システム改善（文書管理、財務会計、人事給与、職員認証）
- ③教職員の情報共有プラットフォーム統一化の取り組み
- ④在宅テレワーク時における電話対応可能な環境整備
- ⑤事務職員執務スペースの無線LAN環境の拡充
- ⑥ネットワーク基盤・情報セキュリティ基盤の更新（発展的強化）

##### 5 福浦キャンパスの機能維持



## Ⅶ 法人経営

### <法人経営の柱> 時代の流れに柔軟に対応できる持続可能な法人経営の確立

<検討の方向性（考え方）>

法人経営においては、理事長・学長のリーダーシップのもと、一層のコンプライアンス推進・ガバナンス強化に加え、不断の経営改革や基金等による財政基盤強化を進めるとともに教職員間で広く信頼関係を築き、経営の土台をより強固なものとする。

また、急速に変化する社会情勢に柔軟に対応し、本学の長を伸ばしつつ将来にわたって持続可能な経営を行っていくため、経営資源である人材の育成をはじめ、新たな課題に対してもスピード感を持って対応できるようにバランスよく投資し、経営基盤の強化を図る。

さらに、教職協働・働き方改革等、組織・人事面での改革を推進し、2028年度に迎える大学創立100周年に向けて教職員が生き生きと働くことのできる職場をつくとともに発信力を高め、教職員、卒業生が一体となって横浜市立大学ブランドを作り上げる。

これら第4期中期計画達成に向けた全ての活動を通じて、市民や患者の皆様から信頼され、市民の誇りとなる大学・病院を体現していく。

#### (1) コンプライアンス推進・ガバナンス強化

1	<b>互いの立場を尊重しあえる風土づくり（風通しのよい職場づくり）</b>
	①コンプライアンスの推進
2	<b>内部統制をはじめとするガバナンス強化</b>
	①内部統制システムの運用 ②学生・教職員の安全確保に向けた危機管理体制の強化
3	<b>個人情報保護の推進</b>
	①情報漏えい再発防止策の実施 ②個人情報保護を含めた総合的な情報セキュリティ対策 ③個人情報の適正管理の実施

#### (2) 不断の経営改善及び持続可能な経営のための自己収入確保

1	DX推進及び支援による業務改善
	①法人全体のDXに資する取組への投資と推進
2	自律的な運営に資する外部資金獲得施策の実施
	①外部資金獲得のための計画的・戦略的な体制整備 ②横浜市立大学基金の拡充に向けた長期計画策定と実行
3	法人全体の効率的かつ効果的な運営
	①法人経営のあり方の検討

## VII 法人経営

### (3) 教職員エンゲージメントの向上

#### 1 法人経営を支え、YCUブランドの向上に寄与する人材の育成と活用

①教職員が十分に力を発揮できる人事制度の適正な運用と構築

#### 2 教職員が生き生きと働くための組織風土の醸成 ★III-(4)1・IV-(2)4と関係

①ダイバーシティの推進による誰もが活躍できる職場環境の実現 ★III-(4)1と関係

### (4) 100周年に向けた横浜市立大学ブランドの強化と広報（100周年・卒業生・基金の連動）

#### 1 100周年事業（5プロジェクト）の実現とその先の将来につながる取組

①周年事業推進体制整備

②周年事業の機運醸成に向けた各種取組（学内外）

③学内外への情報発信力の強化

④周年事業を契機とした卒業生による支援ネットワークの強化

#### 2 卒業生連携

①周年事業を契機とした卒業生による支援ネットワーク

#### 3 経営方針に沿った戦略的広報の展開

①YCUブランドの確立・浸透およびそれに基づく最適な広報展開

②教職員の広報マインド及び発信力の涵養

### (5) 財務内容の改善：運営交付金・貸付金

## VIII 自己点検及び評価

#### 1 目標の浸透と適切かつ効率的な自己点検・評価の実施及び情報公開

①適切な指標やデータに基づく評価の実施

②ステークホルダーにとってわかりやすい公表